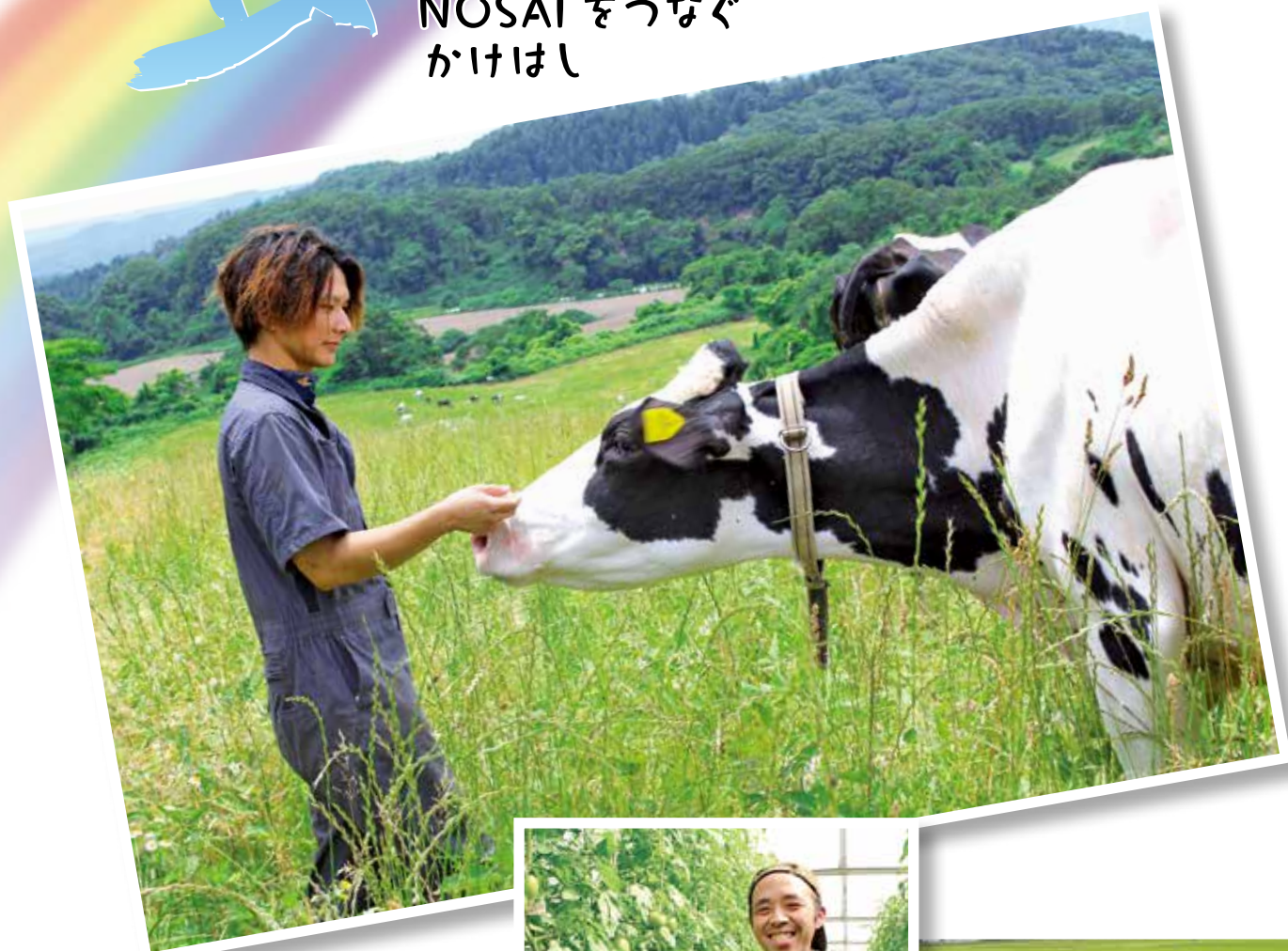


あなたと
NOSAIをつなぐ
かけはし



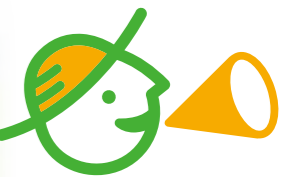
P2-5 収入保険
もしもに備える収入保険

P6-7 建物共済
能登半島地震36億円超の支払い

P8 園芸施設共済
地震津波で2,118万円支払い

P9 水稻共済
全相殺方式と半相殺方式





「もしも」に
そなえる、
あなたへの
エール。

収入
保険

インタビュー

収入保険を選んだワケ

収入保険は心の支え



ほりかえしん
羽咋市 堀替新町
株式会社 グリーンワークス
代表取締役 **松田 正**さん (56歳)
◆経営内容◆
水稲 9.7ha ほか 麦・ソバ・大豆

設備投資で生産性向上

脱サラ後、法人を設立して10年がたちます。9・7畝の水稲を中心に麦やソバ・大豆の転作作物にも取り組んでいます。また、収入確保のため、7年前からドローンでの防除作業の受託をしています。

労働力は自分1人なので、水稲面積15畝を目標にしています。農地集約に時間がかかり、経営計画は見込み通りに

進みませんでした。生産性を向上させることを意識し、先行して設備投資をしてきました。

経営リスクを念頭に

複数作物を栽培すること、作業受託で副的に収入を得ること、農業保険を利用することなどでリスク対策をしています。収入保険には早い段階で加入しましたので、コロナ禍で米価が下落した際、保

険金を受け取りました。また、園芸施設共済や農機具共済にも加入しています。

被災は精神的なダメージに

元日の地震では、水田のパイプラインが損傷し、水稲栽培を諦めた耕地が1・6畝あり、大麦栽培へ転換しました。建物や耕地、給排水施設の復旧作業は、通常の農作業と並行して行うことが多く、疲弊しています。収入に結びつかず経費がかかるので、精神的なダメージもあります。

納屋も被災し、建物総合共済の共済金を受け取りました。保管していた農機具は無事で助かりました。

今年産の収入は未知数なので、収入保険を支えに、来年の作付けに向けて、希望をもって取り組んでいきたいです。

人気の「コク旨とまと」

就農4年目です。トマトを主に、キュウリや葉物野菜を栽培しています。出荷先は、共選や直売所のほか、直販も行っています。中玉品種を「コク旨とまと」と名付け、直販やマルシェなど対面販売を中心に、当園のファン獲得に力を入れています。

トマトは大玉からミニまで7品種を栽培しています。特に力を入れている「コク旨とまと」は、うま味と甘みが強く、香り高いのが特徴で、皮も薄く食味が良いです。流通品とは異なり、樹熟した状態で提供する事で他と差別

化を図り、フレンチレストラン等にも卸しています。

年3作で途切れなく

地物トマトが減る7月末から8月の盛夏に出荷できるように、昨年からは3作で栽培を始めました。収穫期と定植期が重なり、作業の負担は大きいですが、一人で作業をしているため、収穫できる量に限りがあり、作付けをずらすことで、春から冬まで途切れなくトマトを販売できるよう取り組んでいます。

保険加入で不安軽減

リスク管理として、収入保険に加入し、けがや病気など

で万が一自分が働けなくなった時に備えています。農繁期は数日休むと収入が大幅に減る為、特に心配です。また、春作トマトは冬に定植するため、大雪でガラスハウスが割れて収穫できないリスクに対して、保険は有効だと考えます。

今後は、収量より品質を高め、直販の割合を増やしていきたいです。「ぶるベジ」のアカウント名で写真共有アプリ（インスタグラム）に随時情報を発信しています。出店情報や販売も行っているのので、ぜひ覗いてみてください。

挑戦するために必要な保険



いちつか
白山市 一塚町
なかがわ ともはる
中川 智晴さん (40歳)
◆経営内容◆
ハウス 20a



自慢の「コク旨とまと」

Instagram

- 倉庫の浸水被害
- 取引先の倒産
- 盗難や運搬中の事故
- 為替変動で大損

けがや病気で収穫不能



災害で作付け不能



市場価格が下落



自然災害で減収



収入保険は、加入する農業者が栽培し販売する農作物や、農産物の収入減少を補てんします。自然災害や価格変動など、ほぼすべての事故が対象になります。

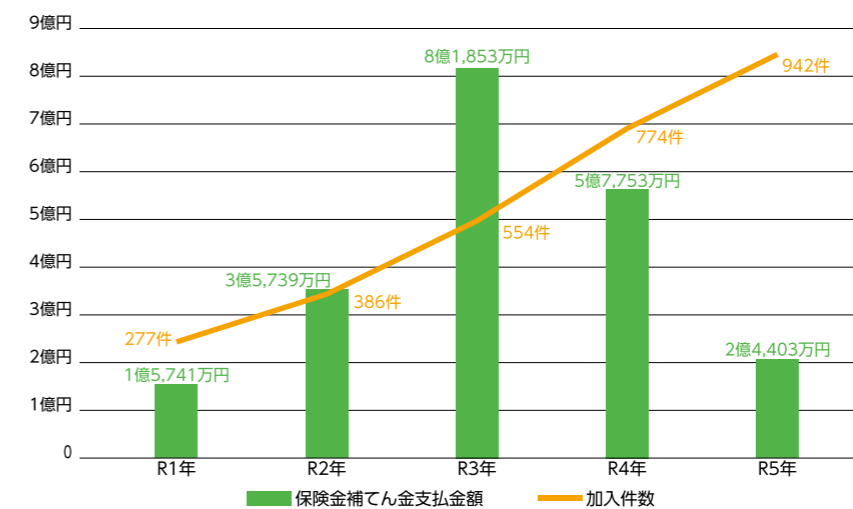
補償の対象



令和元年からスタートした収入保険は、年々加入者が増えています。近年は高温・豪雨などの異常気象が常態化し、地震も発生しました。

経営努力では避けられない想定外のリスクに、収入保険加入で備えましょう。

■加入件数と保険金補てん金支払金額の推移



- 令和2～3年は、新型コロナウイルス感染症の影響による価格や販売量の低下、日照不足等による減収
- 令和4～5年は高温の影響で品質の低下により販売収入が減少

令和7年の加入申請を受付中
新規お申し込みはお早めに

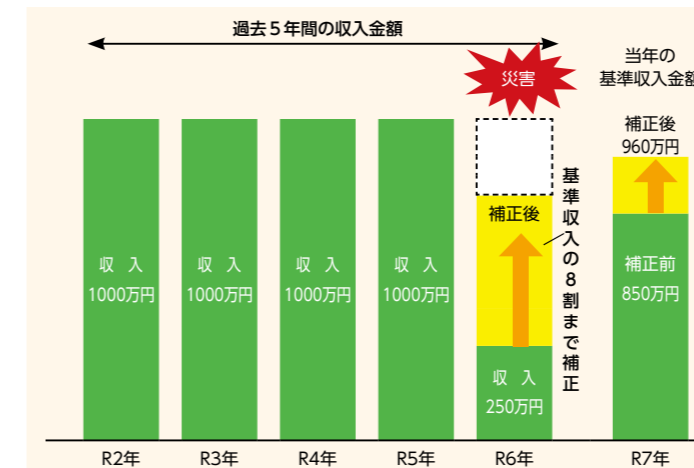
- 加入対象者は…
青色申告をしている農業者
- 保険期間は…
個人は1月から1年間、法人は事業年度の1年間
- 基準収入は…
過去5年の平均販売収入と営農計画が基本
- 支払開始は…
基準収入の9割を下回った場合
- 保険料等は…
保険方式と積立方式の設定により負担軽減が可能

気象災害特例

特例で基準を補正

甚大な気象災害（地震及び噴火を含む）を受け、農業収入が大きく減少した場合に、被害年の収入金額を基準収入金額の8割まで補正します。

※特例適用には、市町が交付する被災証明及び被害状況が確認できる写真などが必要です。



ネット割引

お得なインターネット申請

農林水産省が提供する「共通申請サービス」（通称「eMAFF」）を利用して、インターネット申請をした方には付加保険料（事務費）が割引になります。

いつでも
ご自宅から
好きな
タイミングで

はやい
加入申請や
保険金請求等が
迅速に

お得!!
付加保険料の割引あり
新規 4,500円 継続 2,200円



補助金

市町からの補助があります

県内の7市3町において、令和6年4月から令和7年3月に収入保険へ新規・継続加入された農業者の方に、保険料等の一部が補助（助成）されます。

小松市

- 加入1年目の補助額
認定農業者：上限4万円
非認定農業者：上限2万円
- ※保険料の1/3、事務費の1/2の合計を補助
- 加入2年目の補助額
認定農業者：上限3万7千円
非認定農業者：上限1万8千円
- ※保険料の1/4、事務費の1/3の合計を補助
- 加入3年目の補助額
認定農業者：上限3万5千円
非認定農業者：上限1万7千円
- ※保険料の1/6、事務費の1/6の合計を補助

加賀市

農業者が負担する保険料の1/10を補助

能美市

選択年度内に納入した保険料の1/3を補助

金沢市

個人：上限6万円
法人：上限10万円
※令和6年度中の新規加入者のみ、年度内に納入した保険料の半額を限度とし、右記の金額以内を助成

津幡町

水稲農家（5畝以上の耕作者）
認定農業者：上限5万円
非認定農業者：上限3万円
※年度内に納入した事務費と合わせて右記の金額を限度として1/2以内を助成

かほく市

認定農業者：上限5万円
非認定農業者：上限3万円
※事務費と合わせて1/2を補助

宝達志水町

認定農業者：上限4万円
非認定農業者：上限2万円
※事務費と合わせて右記の金額以内を助成

羽咋市

認定農業者：上限4万円
非認定農業者：上限2万円
※事務費と合わせて右記の金額以内を助成

穴水町

加入1年目の補助額
農業者負担の3/10以内
加入2年目の補助額
農業者負担の2/10以内
加入3年目の補助額
農業者負担の1/10以内
※事務費と合わせて10万円を限度として助成

輪島市

認定農業者：上限10万円
非認定農業者：上限6万円
※事務費と合わせて1/2を補助

支払共済金は36億5、860万円

NOSAIでは、発災後、災害対策本部を設置し、損害調査体制の整備を図りました。のと里山海道の寸断や職員の被災により損害調査が難航する中、全職員が協力し効率的に業務を遂行しました。

これまでの調査により、建物総合共済加入者に対し2、024件で、36億円を超える共済金を支払いました。

■令和6年能登半島地震による建物総合共済の支払状況

| 地域 | 支払件数(件) | 支払共済金(円) |
|----|---------|---------------|
| 加賀 | 457 | 346,733,930 |
| 能登 | 1,567 | 3,311,868,780 |
| 合計 | 2,024 | 3,658,602,710 |

令和6年9月5日現在

発災後の主な流れ

- 1月2日 ●本所（本館・別館）で被害申告の対応を開始
- 1月4日 ●加賀方面より損害調査を開始
●総合共済の新規引受の制限
- 1月15日 ●奥能登支所の業務再開
- 1月18日 ●理事会にて特例措置を議決（共済掛金等の払込期限等の延長）
●能登地域の建物共済掛金徴収業務を停止
- 2月15日 ●地震被害にかかる建物共済金の支払開始
- 6月1日 ●県内全域で総合共済の新規加入の制限解除
- 6月12日 ●能登地域の掛金徴収業務を順次再開
- 8月31日 ●特例措置による共済掛金等の払込期限等の延長の終了



NOSAIでは、被災地域の日も早い復旧・復興のお役に立てるよう、総力をあげて取り組んでまいります。

火災から自然災害まで補償する総合共済

1棟あたり(家具類含む)
4,000万円まで加入できます



総合共済で支払い対象となる事故

火災共済の支払対象事故

- 火災
- 落雷
- 破裂・爆発
- 外部からの物体の落下・衝突
- 給排水設備の事故による水濡れ
- 盗難によるき損・汚損
- 騒乱に伴う破壊

+

自然災害



風水害



地震・噴火・津波



土砂崩れ



雪害

加入共済金額の50%を支払限度

- 地震・噴火・津波による損害は、
- 建物は5%以上の損害を受けたとき
 - 家具類（農機具）は70%以上の損害を受けたとき

継続加入の留意点

継続加入できない建物

- 全壊した建物
- 空き家または維持管理がなされない建物

支払い対象となつた建物は

- 全損認定を受けた建物は、損害が発生した時点で共済関係は消滅します

新規加入の留意点

- 新たに総合共済にご加入を希望される場合、事前に該当物件の状況確認調査を実施し、引受の可否を判定します

ご理解とご協力をお願いします。



全相殺方式と半相殺方式の共済金の算出方法を比較してみましょう。

全相殺方式

- ポイント1 最高補償は9割
- ポイント2 基準は個人の実績
- ポイント3 査定は出荷資料で

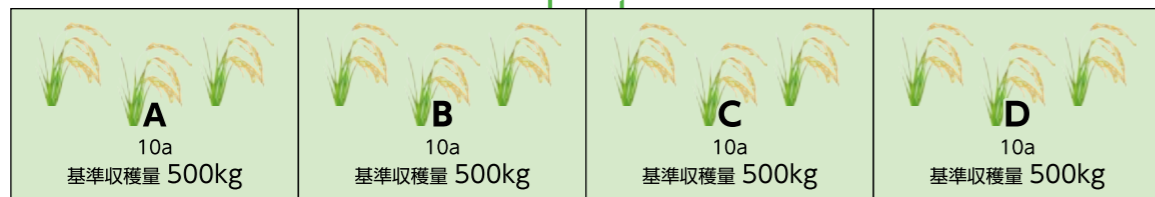
- ・加入者ごとの基準収穫量に対して、引受耕地全体の減収量が1割を超える場合に共済金を支払います
- ・委託事業者の出荷資料や自身が記帳した帳簿に基づき損害調査を行うため、明確です
- ・基準収穫量は個人の実績を基に算出します

半相殺方式

- ポイント1 最高補償は8割
- ポイント2 基準は地域の収量
- ポイント3 査定は現地調査で

- ・加入者ごとの基準収穫量に対して、被害耕地の減収量の合計が1.5割を超える場合に共済金を支払います
- ・耕地ごとの収穫量を申告していただき、現地調査により損害を査定します
- ・基準収穫量は地域の標準的な収穫量を基に算出します

A~Dの耕地4筆(基準収穫量計2,000kg・1kg当たり共済金額197円)の場合



| 9割 | 補償割合 | 8割 |
|----------|-----------------------|----------|
| 1,800kg | 補償される収量 | 1,600kg |
| 354,600円 | 全損時の支払金額 | 315,200円 |
| 903円 | 農家負担掛金等 (一筆半損特約付加) | 685円 |

A~Dの耕地がそれぞれ以下の収穫量だった場合



共済金の計算方法

$\{(2000\text{kg}-1550\text{kg})-200\text{kg}\} \times 197\text{円}$
(基準収穫量-当年収穫量)-基準収穫量の1割×1kg当たり共済金
=49,250円

共済金の計算方法

$\{2000\text{kg} \times (500\text{kg}/2000\text{kg} \times 16/17 + 3/34) - 300\text{kg}\} \times 197\text{円} = 37,036\text{円}$
(基準収穫量×(減収量/基準収穫量×共済金を計算するための定数)-基準収穫量の1.5割)×1kg当たり共済金額

特例

- 一筆半損特例
耕地ごとに減収量が5割以上(全損を除く)と認められる場合に、基準収穫量の2割を共済金として支払います。
- 一筆全損特例
耕地ごとに全損と認められる場合に基準収穫量の7割を共済金として支払います。



能登半島地震
共済金2,118万円支払い

令和6年能登半島地震によって県内の園芸施設に甚大な被害が発生しました。

1月9日、金沢市より損害調査を開始しました。奥能登地区では1月30日から地震および津波による損害調査を進めてきました。

9月5日現在、26戸66棟2,118万円余りの共済金を支払いました。

令和6年能登半島地震による園芸施設共済の支払状況(地震・津波)

| 地 域 | 支払件数(棟) | 支払共済金(円) |
|-----|---------|------------|
| 加 賀 | 17 | 3,816,680 |
| 能 登 | 49 | 17,369,527 |
| 合 計 | 66 | 21,186,207 |

令和6年9月5日現在

被害発生時はスムーズな対応
昨年末、加賀地方では、湿った雪がまたたく間に降り積もりました。水分を多く含む雪の重さでハウスは倒壊し、共済金を受け取りました。再建が早く進み、春作ブロッコリーの作業に間に合わせる

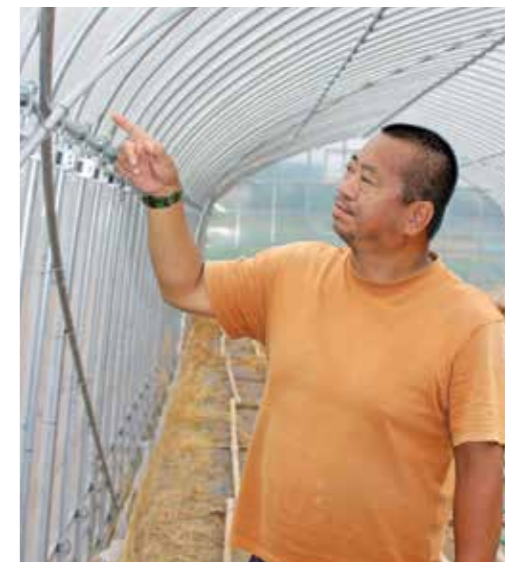
職員のすすめで加入
夫婦で約15畝を管理しています。売上の多くを占めるのはブロッコリーで、春、秋、越冬と年3作の栽培に取り組んでいます。平成26年にUターン就農し、今年で10年目です。

園芸施設共済にはNOSA I職員にすすめられて加入了。掛金が年間1万円程度で、手軽にハウスの補償を得られる点が魅力でした。

ハウス再建の費用に
近年の資材高騰等により、ハウスの建設費用は高額です。共済に加入してなければ全額自己負担となっていたので助かりました。再建時には、風雪害を意識し、パイプ径を太くし、筋交いをしっかり入れるなど対策しています。収入保険にも加入しています。今後も農業保険加入でリスクを分散させながら、ハウスの棟数を増やし、育苗にも力を入れていきたいです。

◆経営内容水稲1.7畝、麦、大豆、ブロッコリーなど▽計15畝

加入者の声
加賀市栄谷町 河野 涼司さん (49歳)



「風雪害を意識して再建した」と話す河野さん



共済加入や被害申告は気軽に職員に相談

酪農業の存続の危機 再起かけて牛舎再建へ

珠洲市唐笠町
松田牧場
松田 徹郎さん (35歳)



「広大で牧歌的な景色は人を癒してくれます」と話す松田代表

珠洲市唐笠町の松田牧場株式会社代表の松田徹郎氏は、能登半島地震で甚大な被害を受けた。同牧場では、乳牛と黒毛和牛あわせて現在約130頭を飼育する。牛舎の倒壊や停電、長引く断水、従業員の退職など、困難な問題が続く中、経営の維持に努め、復旧・復興に向けて動き始めている。

地震による甚大な被害
能登半島の先端にある同牧場は震源地からわずか数キロ

断水が続き、1日6トの湧き水を3時間かけて運搬することが大きな負担となっていた。湧き水での機器洗浄では出荷できず収入は激減。しかし、乳房炎防止のため搾乳は続けなければならぬ。その後停電が解消し、関係機関の協力で浄水を調達できたため、2月12日に生乳の出荷が可能になった。飲水不足

搾乳しても出荷できない日々



筋交いに木材を打ち付け応急的措置をした牛舎

5人いた従業員のうち3人は、遠方へ2次避難し、やむなく退職した。依然、避難生活が続く奥能登地域での人材確保は極めて難しい。残った従業員2人とともに懸命に事業の維持に取り組んでいる。

松田牧場では、牛舎と付帯設備の再建にかかる費用として、国や県からの復興支援を受けても、自己資金の負担は6千万円を超えると試算している。その一部はクラウドファンディングで調達した。「未来につながる酪農業を目指したい。誰もが気軽に立ち寄れる牧場にしたい」と再起を目指す。

再建目指して奮闘
と十分な給餌ができなかったため、搾乳量が一時は昨年の3割以下だったが、7月までに7割程度に回復。この影響は来年末まで続く見込みだ。



傾いた牛舎のコンクリートの床には大きな亀裂が走る

山間地に活気 和気あいあい 長続き

津幡町上大田
河合谷の郷即売所

津幡町上大田にある河合谷の郷即売所では、地元産の農産物や加工品を販売している。町の中心部から車で約20分かかる山間に位置し、河合谷地区の6集落から50人の生産者が商品を提供している。オープン以来14年間、安定した人気で、日曜日には開店前から行列ができるほどの盛況ぶりだ。



長続きの秘けつはチームワーク

6畝を耕作する水稻農家で、販売用と加工用の米を提供している代表の高山雄雄さん(80)は、「高齢者スタッフばかりだが、みんなの生きがいになっている」と話す。加工責任者の大沢鈴子さんは、「家庭の味を持ち寄って共有する。」

即売所の運営は、17人のスタッフでローテーションであり、商品開発や価格など月に一度の会議を通して、情報を共有する。

みんなの生きがいに



「河合谷ならではの品ぞろえ」と高山代表



できたての惣菜を並べる大沢さん

即売所は、「滝の谷霊水」の前面にある。遠方からも多くの人々が水汲みに訪れるため、家庭で余った農産物や加工品を販売しようとテントを建てたのが前身だ。買い物客が増え、加工販売への機運が高まり、加工場やトイレ、駐車場を完備した販売所を建設するに至った。

高山代表は、「テントでの販売から29年。当時は農産物直売所の先駆けだった。これからは河合谷らしさを大切に運営の維持に努めたい」と話している。

「らしさ」を大切に
レシピづくりをしています。チームワークがよくて楽しい」と話し、できたての惣菜を手際よく並べていく。



売れ筋は手作りの惣菜

特産のナシ 輸出で収益性アップ

加賀市直下町 (株) リーフファーム加賀

西山 匡亮さん (35歳)
中田 徹さん (32歳)



「兄弟力を合わせて頑張りたい」と話す
西山代表 (右) と中田さん

「消費者に安全なものを届けたい」と話すのは株式会社リーフファーム加賀の代表の西山匡亮さん。弟の中田徹さんとともに水稲と野菜、ナシの複合経営に取り組んでいる。

元々、西山さんが米や野菜、中田さんはナシを栽培。それぞれが栽培面積を拡大していく中、従業員の雇用や生産物の品質向上を考え、令和3年3月に二人で協力し法人化することを決めた。

ナシの産地である同地域で、若い人材が地元で根差し、営農を続けられるようにと、収益性の高い販売戦略を模索する。有機肥料栽培のものを直売するほか、近隣の複数の農家とともに、ルクセンブルクなどのヨーロッパや台湾などへの輸出に挑戦している。

二人は、「県内にとどまらず日本農業のロールモデルを目指したい。今後も地域農業の発展と人材育成に力を注いでいきたい」と意気込む。

蜂蜜の生産 農地保全にも貢献

羽咋市鹿島路町
合同会社みつばちファーム眉丈
三宅 正範さん (68歳)



養蜂箱を確認する三宅さん

「自然の中で作業することが楽しい」と話す羽咋市鹿島路町の合同会社みつばちファーム眉丈(三宅好江代表)の会長兼生産責任者の三宅正範さん。金属加工業を営む傍ら養蜂に取り組み、町内のりんご園などで養蜂箱を置きながら、蜂蜜を生産している。10年前に巣箱作り体験に参加したことをきっかけに、1群から始めた養蜂は現在は、15群になった。

管理に細心の注意
ミツバチは温度や湿度の

化に弱い。三宅さん方では、冬には羽を被せ防寒したり、夏には養蜂箱の周囲に日陰を作ったりと、管理には細心の注意を払う。外敵が多いため、獣害対策として電気柵を設置している。

養蜂箱を管理する周辺の畑には開花期の異なるさまざまな植物を植えている。耕作放棄地を借り受け、ヘアリーベッチを栽培し採蜜後にすきこんだり、景観保全を兼ねて菜の花を植えたりと、地域の農地保全にも寄与している。

ミツバチは受粉作業の助け



1群で10～20Kgの蜂蜜が採取できる



非加熱でつくった
蜂蜜本来の味です
食べてみてください

アロエのすばらしさを広めたい

白山市四ツ屋町 福島 恵子さん (72歳)



アロエベラの手入れをする福島さん

「昔から医者いらずと言われ、私自身、アロエを食べるようになって体調がよくなった」と話すのは福島恵子さん。ビニールハウス3棟で食用アロエの「アロエベラ」を栽培し、白山市内の直売所で通年販売している。

乾燥地域を原産とするアロエベラは保水性が高く、土中の限られた水分・養分を体内に蓄えるため、ビタミンやミネラルが豊富。大きいものは葉1枚80g、1.5kgにもなる。肉厚で歯ごたえがありながらも、トロトロな食感が特徴だ。

福島さんは、化学肥料は使わず、年2回牛ふんを施肥、農薬は不使用で栽培する。寒さに弱く、雪に少しでも当たると根腐れを起こすため、北陸での栽培にはハウスは必須。太陽光の影響を受けやすいため、天候によりハウスのビニールの上げ下ろしが必要となる。「手間はかかるが、アロエベラの素晴らしさをもっと広めたい。一緒に栽培をしてくれる若い人を募集中です」と笑顔で話す。

「これからも挑戦したい」
生産した蜂蜜は、リンゴ、アカシア、フジの短花蜜と、季節の花から採蜜した百花蜜があり、自身で瓶詰して地元の道の駅やオンラインショップで販売している。

三宅さんは、「試行錯誤の連続です。今はソバの花の蜂蜜に挑戦しています。今後さらに生産量を増やしていきたい」と意気込んでいる。



道の駅「のと千里浜」で販売中



8月から11月までのうごき

8月中旬～9月
水稻共済損害評価

9月10日
麦共済令和7年産
申し込み開始

9月
余裕金運用管理委員会
理事会

10月
大豆共済損害評価

11月
監事会
中間監査

まず組合までのご連絡を

共済事故発生時

職員が事故の現地確認をします。連絡が遅れると事故の原因が特定できなくなり、共済金をお支払いできないことがあります。

加入内容変更時

- 農機具の買い替え
- 園芸用ハウスの被覆期間の変更
- 建物の建て替え
- 加入名義の変更

加入内容の変更がありましたら、早めにご連絡をお願いします。

マイナンバー提出のお願い

NOSAI部長・損害評価委員の皆さんへ

NOSAI部長・損害評価委員の皆さんへの報酬等支払いにかかる書類作成の際に、マイナンバーが必要となります。

該当される方には、書留郵便で必要書類の提出を依頼しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
*組合から聞き取りの電話をかけることはありません。

ニーズ調査実施中

共済対象品目のうち、現在石川県で実施されていない品目について、希望がありましたら、組合までご連絡ください。

農業共済新聞購読してみませんか

農業共済新聞は、週1回発行「農家に学び、農家に返す」を基本方針として、営農から暮らしに役立つ情報、地域の話題まで、幅広く提供しています。2カ月間の試し読みキャンペーンを実施しています。この機会にぜひご購読ください。

年間購読料は5,520円です。

●購読をご希望の方は本所企画広報課までご連絡ください
TEL 076-239-3111



大豆共済すきこみ前にご連絡を

大豆共済の損害評価が10月から始まります。被害申告をした場合は、NOSAIの損害評価が終わるまで、すきこみや収穫をしないようにお願いします。

掛金納入は口座振替で

コンプライアンスに沿った対策及び組合員の利便性向上を図る観点から、集金業務を原則廃止します。お早めに口座振替依頼書の提出をお願いします。

口座振替依頼書提出の留意点

- ・掛金等納入期限のおおむね2カ月前までに提出してください
- ・届出印、口座名義フリガナの間違いはないかご確認ください
- ・JA口座その他の金融機関では振替依頼書が異なりますので、ご注意ください

令和7年1月20日 締切

損害防止事業 機器購入経費の一部を助成します

農作物共済、果樹共済及び畑作物共済事業の健全な運営を図ることを目的に、損害防止に要する対象機器を購入した経費の一部を助成します。

交付対象機器

令和6年1月1日から
同年12月31日までの間に
購入した以下の機器

1. 農薬散布ドローン

1台当たり購入額 40万円以上に限る

2. 動力噴霧機 (器)

1台当たり購入額 20万円以上に限る

3. 水田乗用管理機 (ブームスプレーヤ)・産業用無人ヘリコプター

1台当たり購入額 50万円以上に限る

4. スピードスプレーヤ (SS)

1台当たり購入額 50万円以上に限る

交付申請の際は、交付申請書と1台ごとの、型式が明記されている領収書(写し)の提出が必要です。

※交付対象者、交付申請書など、詳しくは管轄のグループへお問い合わせください。

お便りコーナー

今、孫が高校生で、獣医師になろうと頑張っています。

(金沢市 Yさん)

地震被害の申請の時、親切・丁寧に対応してくださりありがとうございました。

(金沢市 Kさん)

営農生産組合長として12〜13年間、役を引き受けており、NOSAIの「虹」を読んで県内の農業情勢を確認しております。

(白山市 Tさん)

皆さんからの声募集します

NOSAIや広報紙へのご意見、身近な話題や農業について思うことをお聞かせください。お寄せいただいた声はお便りコーナーで紹介させていただきます。

獣医師募集

地域農業を支える仕事です
新しい仲間を
お待ちしております

〈勤務内容〉

農業保険法に基づく一般業務および家畜診療に係る業務

〈採用条件〉

- 大学卒業または卒業見込者で獣医師資格取得者または取得される方(昭和56年4月2日以降に生まれた方)
- 普通自動車運転免許取得者または採用までに取得される方

〈待遇〉

- 初任給 221,600円(大学卒)(獣医師資格取得者)
- 獣医師手当 50,000円/月

〈試験予定〉

- 日時/随時
- 会場/同組合 本所
- 内容/筆記(作文)・面接

詳しい募集要項はコチラ



石川県農業共済組合

■ 本 所 ■

〒920-0007
 金沢市田中町か 26 番地 1
 TEL 076-239-3111 (代)
 FAX 076-239-0069
 Eメール
 kouhou@nosai-ishikawa.or.jp

NOSAI石川
 ホームページ

NOSAI石川
 Facebook



各グループのお問い合わせ先は
 こちら

【本所別館】

〒920-0007
 金沢市田中町か 12 番地 1

南加賀グループ

TEL 076-239-2355
 (加賀市・小松市・能美市・
 川北町)

石川中央グループ (白山・野々市地区)

TEL 076-239-2555
 (白山市・野々市市)

(金沢・河北地区)

TEL 076-239-2555
 (金沢市・かほく市・津幡町・
 内灘町)

能登グループ

(羽咋都市・中能登町地区)
 TEL 076-239-2455
 (羽咋市・志賀町・宝達志水町・
 中能登町)

【奥能登支所】

〒928-0313
 鳳珠郡能登町字天坂に 1 番地 1

(七尾市・奥能登地区)

TEL 0768-76-2251
 (七尾市・輪島市・珠洲市・
 穴水町・能登町)

NOSAI石川広報紙「虹」
 秋号 vol.39
 2024年10月発行

Uターンでナシ農家に



加賀市
 おくむら 奥村 昂紀さん (27歳)

学生時代は野球一筋だったため社会経
 験を積みたいと考え、農業にも役立つ知
 識が得られる食品商社に就職しました。
 生産や営業の仕事に携わり、食品が流通
 するまでの流れを勉強しました。
 今年から地元でUターン就農し、父に
 教わりながらナシ作りをしています。今
 後は一つの知識に凝り固まることなく、
 柔軟な考えを持って試行錯誤しながらナ
 シを作っていきたいです。

きらきらひかる

—えがお輝く石川の星—

ドローン防除のリーダー

(株)ゆめつららに就職して6年目になり
 ます。水稲主体で、特に酒米の生産を中
 心に取り組む農業法人です。

4年前に導入したドローンでの防除作
 業の責任者として毎年水田約200畝の
 フライトをしています。

効率の良い防除作業を実現する為には
 事前計画が極めて重要です。チームのリー
 ダーとして計画が達成できた時や評価さ
 れた時は大きな満足感が得られ、仕事に
 対するモチベーションが上がります。



志賀町
 やまざわ 山澤 宏太さん (23歳)

NOSAIクイズ

P9 水稲共済補償9割出荷資料で査定
 ○○○○○○方式
 ひらがな6文字でお答えください

応募方法

クイズの答えと必要事項を明記してハガキ・FAXまたはE
 メールでご応募ください。正解者の中から抽選で、5名の方
 に図書カードを進呈いたします。当選者は氏名のみ番号に
 掲載させていただきます。

FAX 076-239-0069

Eメール kouhou@nosai-ishikawa.or.jp

おもて

85 920-0007
 金沢市田中町
 か26番地1
 NOSAI石川
 クイズ係行

うら

・クイズの答え
 ・郵便番号・住所
 ・氏名・年齢・電話番号
 ・NOSAIへの意見
 ・広報紙のご感想など

● 締め切り / 11月5日(火)必着 ●

38号クイズ
 当選者(敬称略)

岡島 寿子 東 ひとみ
 高田 ふさえ 安田 孝良
 清水 美枝子